

2012 翔 春

取り組みの柱は、組織強化・拡大

国労東日本本部 高野苗実執行委員長

組合員・家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

去年は、3月11日の東日本大震災の発生と東京電力・福島第一原子力発電所が放射性物質漏えい事故を起こし忘れられない年となり、被災された皆さん、避難生活を余儀なくされている皆さんにとって厳しい年明けとなった事だと思います。一日も早い復旧・復興に向けて、私たちもできうる協力をしていかなければならないと思います。

また、原発事故に対する対応についても引き続き取り組まなければならない課題が山積しています。

国労にとって最大の課題であった「JR不採用問題」も、昨年7月の第80回定期全国大会において、24年余に亘る闘いの「闘争終結」を確認するという忘れる事のできない年となりました。

私たち国労の最大課題の「闘争終結」の下で、今後の取り組みの柱となるのは、一つには「組織強化・拡大」の闘いです。

組織拡大の取り組みが前進し、昨年も新規採用者の若い仲間を始め新しい仲間の加入によって、職場・分会に活力を生み出し、自信と確信を持った取り組みが進められています。

国労の将来を左右する組織強化・拡大を方針の柱と位置づけ、9地方本部全てが成果を

あげられる年としなければなりません。

二つには「安全・安定輸送確立」をめざす闘いについてです。

「安全・安定輸送確立」に向け「技術力の維持向上と継承・発展」は最も重要な課題であります。

「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」について、解明要求に基づく交渉が終了し、各ブロック別での集会を取り組んできました。今後、基本要求の交渉へと移行しますが、安全輸送を守っていく観点から取り組んでいかなければなりません。同時に、これまで実施された効率化施策について、問題が指摘されている事からも、検証に基づく改善を求め取り組んでいかなければなりません。

「人事・賃金制度の見直し」の提案について、解明要求・基本要求に基づく交渉も終了しましたが、交渉の中でも危惧する問題もあり、今年4月1日実施するという事からも、実施後の制度の検証の取り組みについても意思統一を深めていかなければなりません。

この他にも、エルダー社員制度改善、グリーンスタッフの問題をはじめ多くの課題について、9地方本部が一丸となって奮闘する一年にしましょう。

組合員・家族の皆さんのご健勝を祈念し、2012年、新年のご挨拶とします。